産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月11日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住所 福岡県福岡市博多区住吉四丁目1番27号

JS博多渡辺ビル

氏名 大成建設株式会社 九州支店

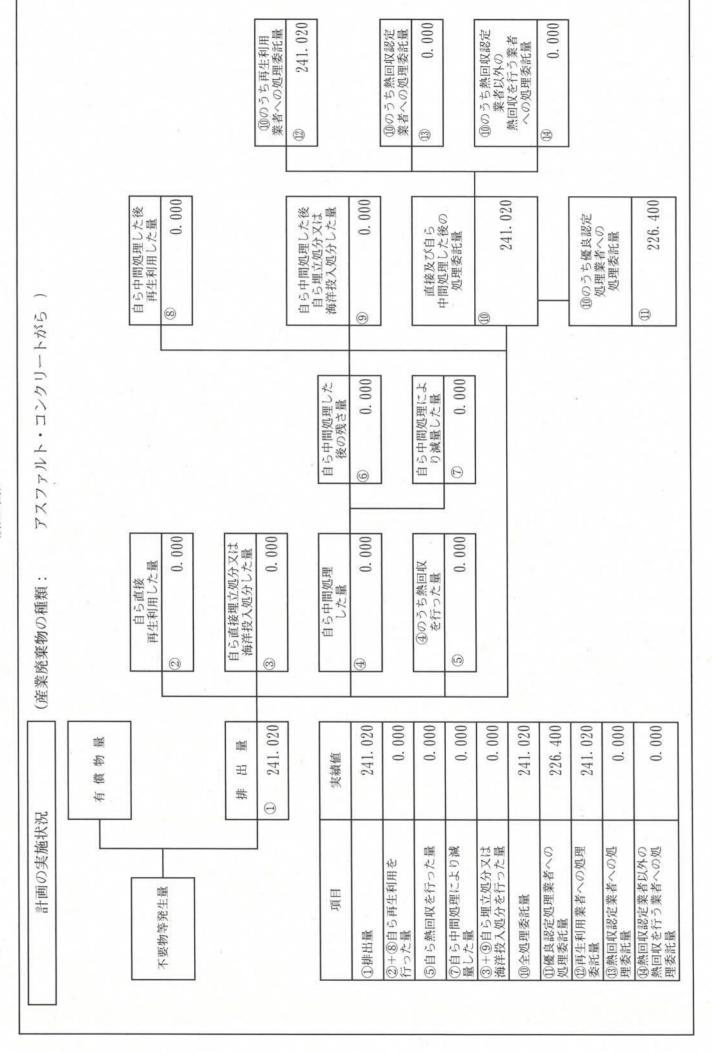
支店長 西河 誠 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)

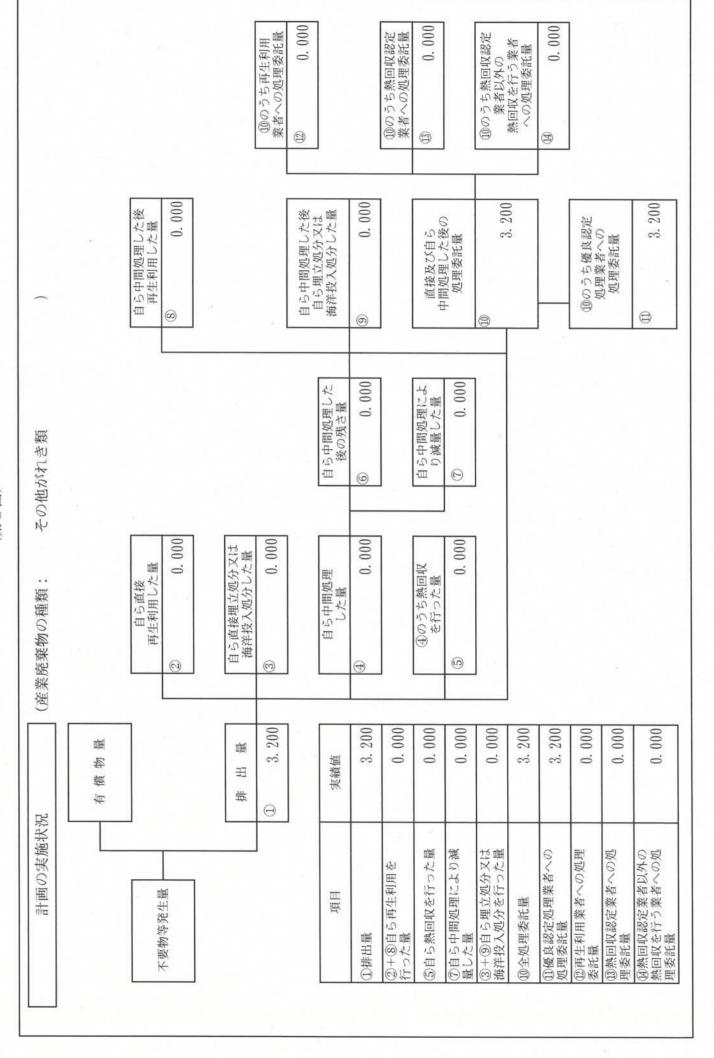
電話番号 092-475-5701

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和 6 年度の 産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

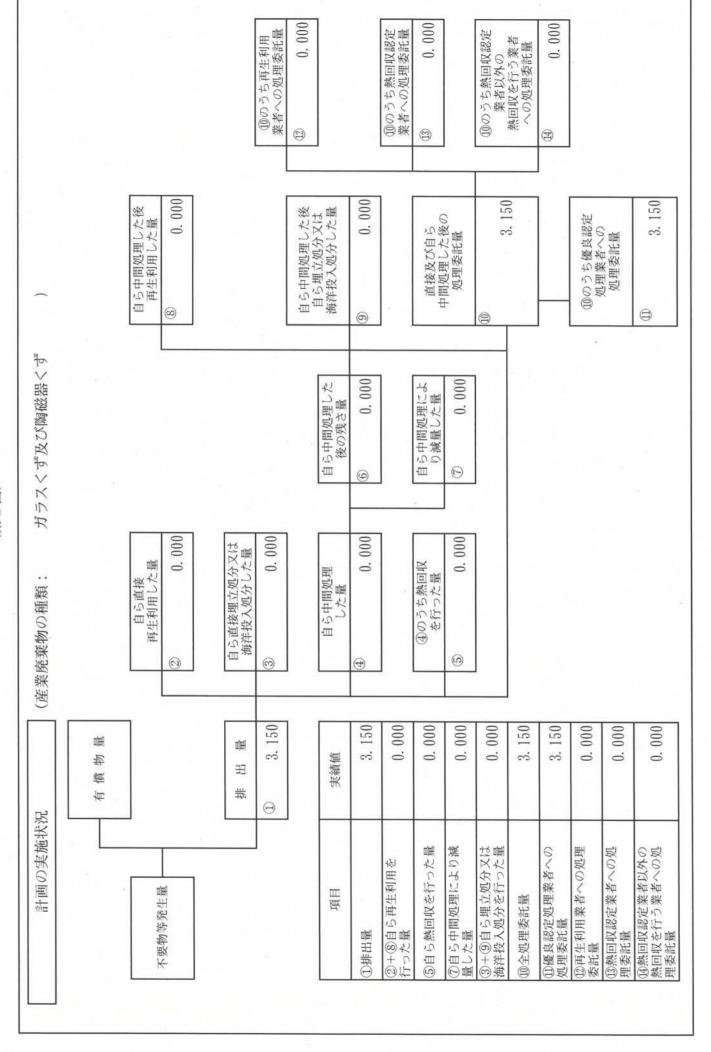
事	業	場の	名	称	大成建設株式会社	ナ	L州支店		
事	事業場の所在地			地	福岡県福岡市博多区 JS博多渡辺		뭐 없는 그렇게 되는 그렇게 그렇게 그 아니라 아이들이 아이들이 사실하게 하는 사람들이 되었다.		
事	業	0	種	類	建設業·総合工事業·	-	般土木建築工事業(E0611)		
け	る	物処理計 画	期	間	THE STATE OF THE S	5	令和7年3月31日まで		
産業	\$廃棄	物処理	計画に	おり	ける目標値				
el coll		項目			目標値		項目	目標値	
		排出	量		3,000 t	t	全処理委託量	3,000	t
	2 4 9	5再生利 5業廃棄			0 t	t	優良認定処理業者への 処理委託量	1,400	t
	5000	ら熱回4 業廃棄			0 t	t	再生利用業者への 処理委託量	2,200	t
	A-10.00 (1.0	中間処理 産業廃			0 t	t	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t
	海洋	ら埋立処 羊投入処 産業廃棄	し分を行	ŕδ	0 t	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t
	*	事務処理	里欄						

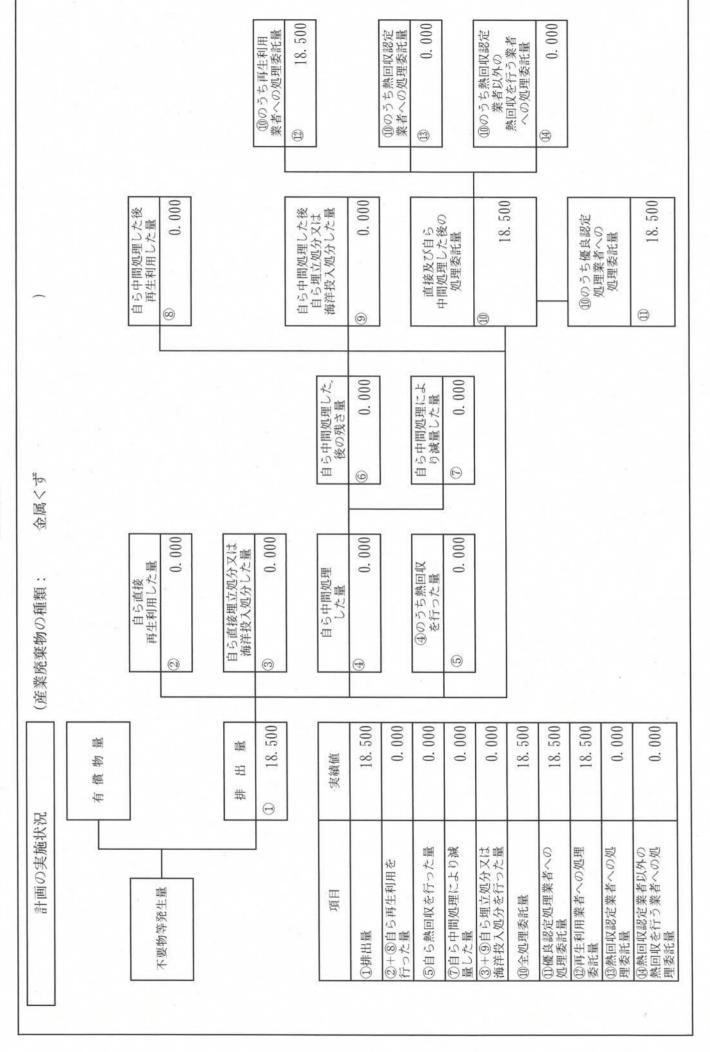
			⑩のうち再生利用業者への処理委託量	© 186.240		⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.000		⑩のうち熱回収認定業者以外の業者以外のます。	熟回収を行う業者 への処理委託量	① 0000			
		自ら中間処理した後に 再生利用した量 ® 0.000		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	(a)(b)(c)(d)(d)(e)(e)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)(f)<l< th=""><th></th><th>直接及び自ら中間の細いた終の</th><th>11回が生った 区の 処理委託量</th><th>186 240</th><th></th><th></th><th>①のうち優良認定 自由業 おくの</th><th>処理委託量</th><th>(II) 186. 240</th></l<>		直接及び自ら中間の細いた終の	11回が生った 区の 処理委託量	186 240			①のうち優良認定 自由業 おくの	処理委託量	(II) 186. 240
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら		自ら直接 再生利用した量 ② 0.000	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③ 0.000	自ら中間処理 した量 後の残さ量	(d) (d) (e) (e) (e) (f) (e) (f) (e) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f		④のうち熱回収 自ら中間処理によ を行った量 り減量した量	© 0.000 © 0.000						
	有償物量		排 出 量① 186.240	実績値	186. 240	0.000	0.000	0.000	0.000	186. 240	186. 240	186. 240	0.000	0.000
計画の実施状況		不要物等発生量		通用	事用非①	②+⑧自ら再生利用を 行った量	⑤自ら熱回収を行った量	①自ら中間処理により減 量した量	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	⑩全処理委託量	①優良認定処理業者への 処理委託量	⑩再生利用業者への処理 委託量	③熱回収認定業者への処理委託量	(回熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量

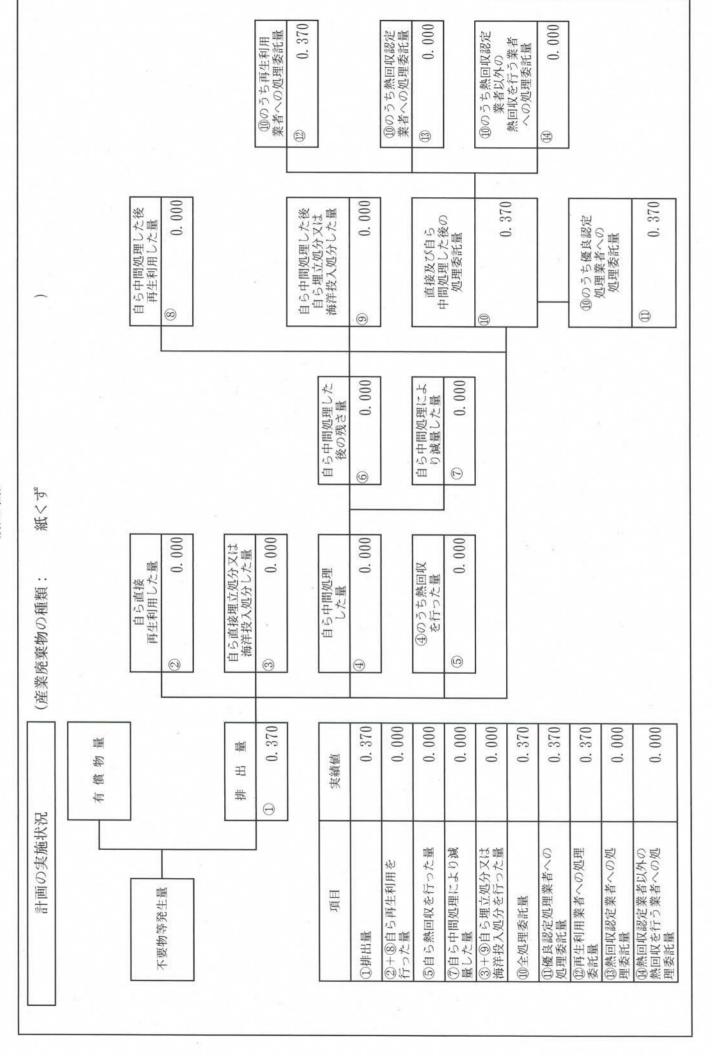


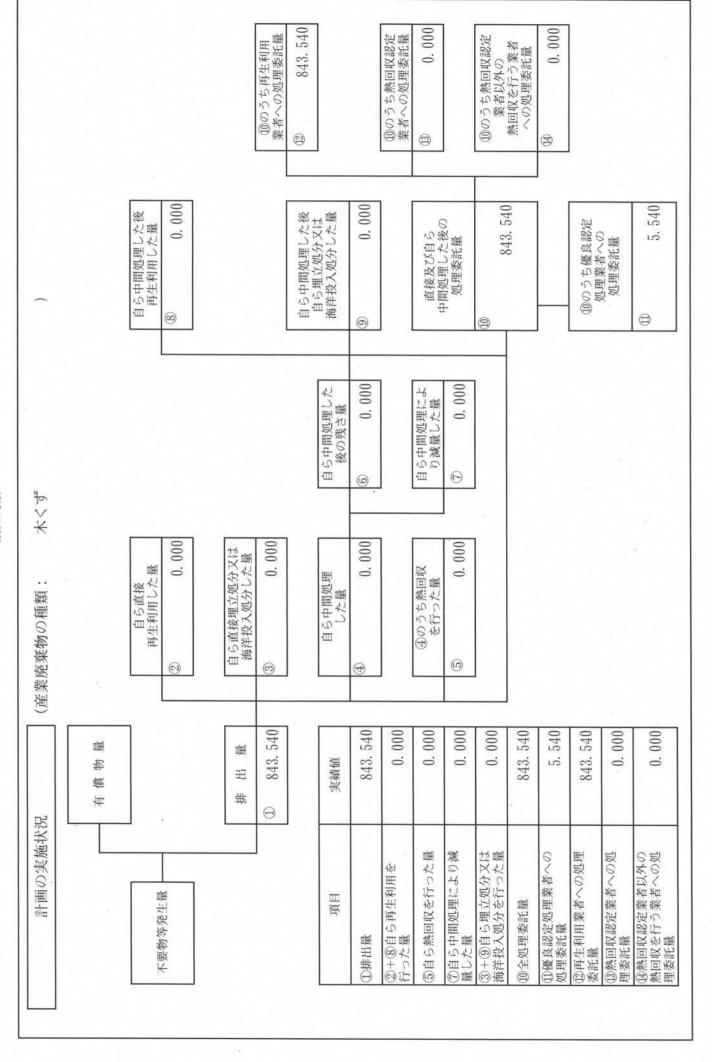


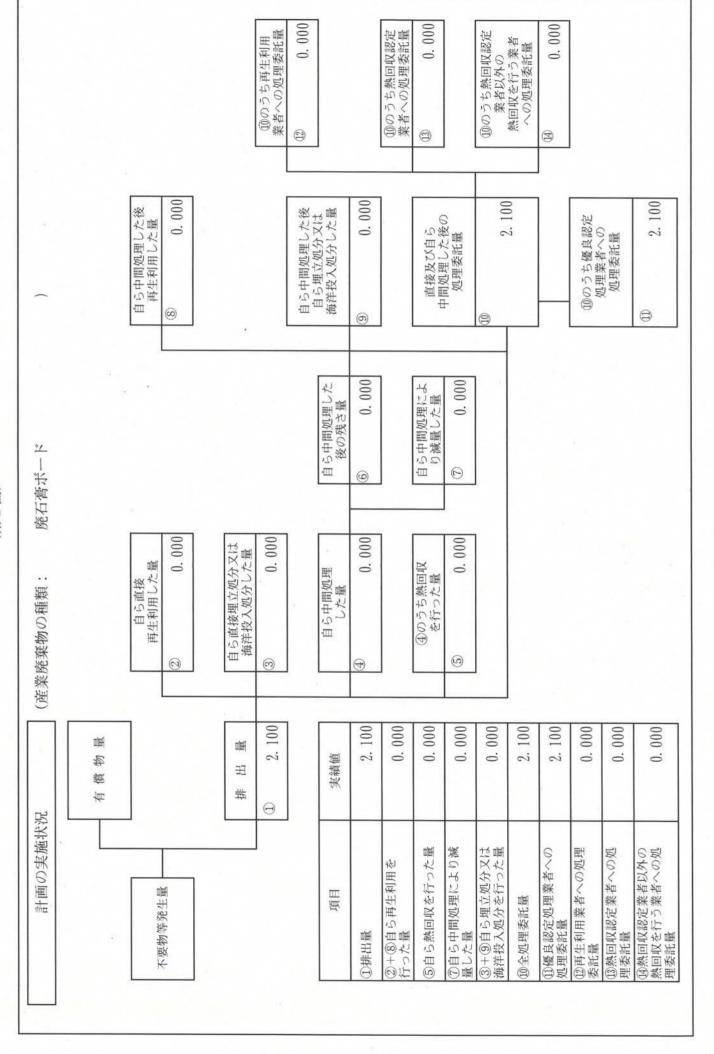
			⑩のうち再生利用業おへの処理を対量	0.000		①のうち熱回収認定 業者への処理委託量	000 0 000		⑩のうち熱回収認定業者以外の	然回収を行う業者 への処理委託量	(4) 0.000			
	2	自ら中間処理した後 再生利用した量 ® 0.000		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	(a) 0.000		直接及び自ら中間が開いた。	中间が埋した後の処理委託量	00 2 400	.,		⑩のうち優良認定加田業をの	処理委託量	① 2. 400
廃プラスチック類				自ら中間処理した後の残さ量	0.000		自ら中間処理により減量した量	© 0.000						
(産業廃棄物の種類: 廃		自ら直接 再生利用した量 ② 0.000	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③ 0.000	自ら中間処理した書	① 0000 ®		④のうち熱回収 を行った量	© 0.000						
	有償物量		排出量	実績値	2. 400	0.000	0.000	0.000	0.000	2. 400	2. 400	0.000	0.000	0.000
計画の実施状況		不要物等発生量		通目	①排出量	②+8自ら再生利用を 行った量	⑤自ら熱回収を行った量	①自ら中間処理により減量した量	③+⑤自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	⑩全処理委託量	①優良認定処理業者への 処理委託量	②再生利用業者への処理 委託量	③熱回収認定業者への処理委託量	砂熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量
				a a								=		

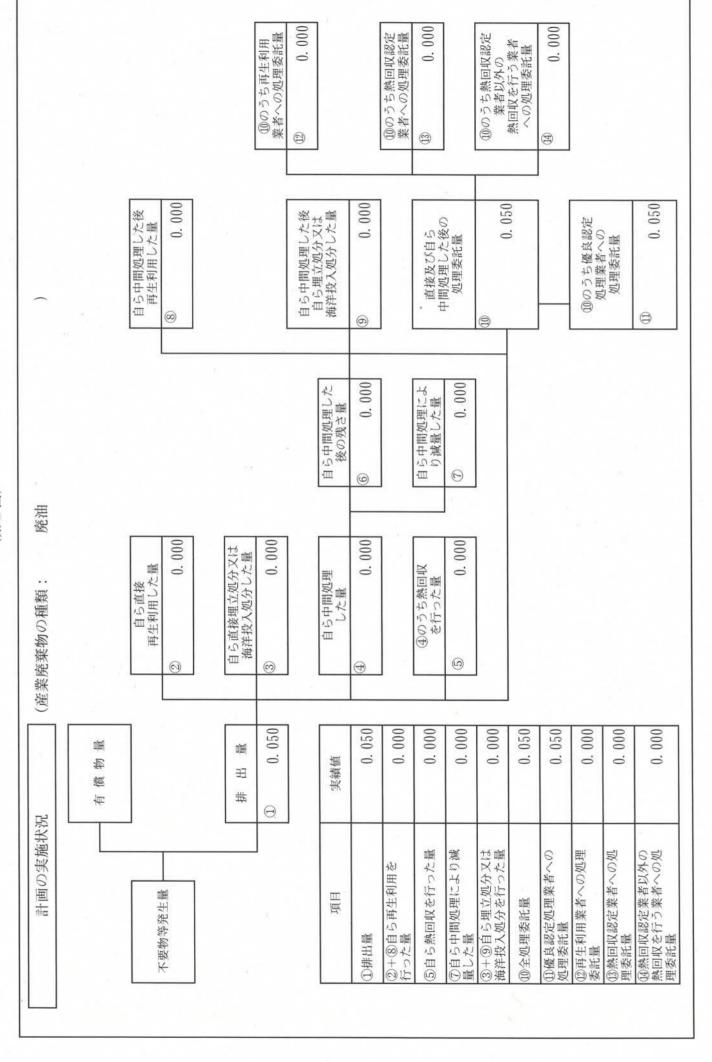


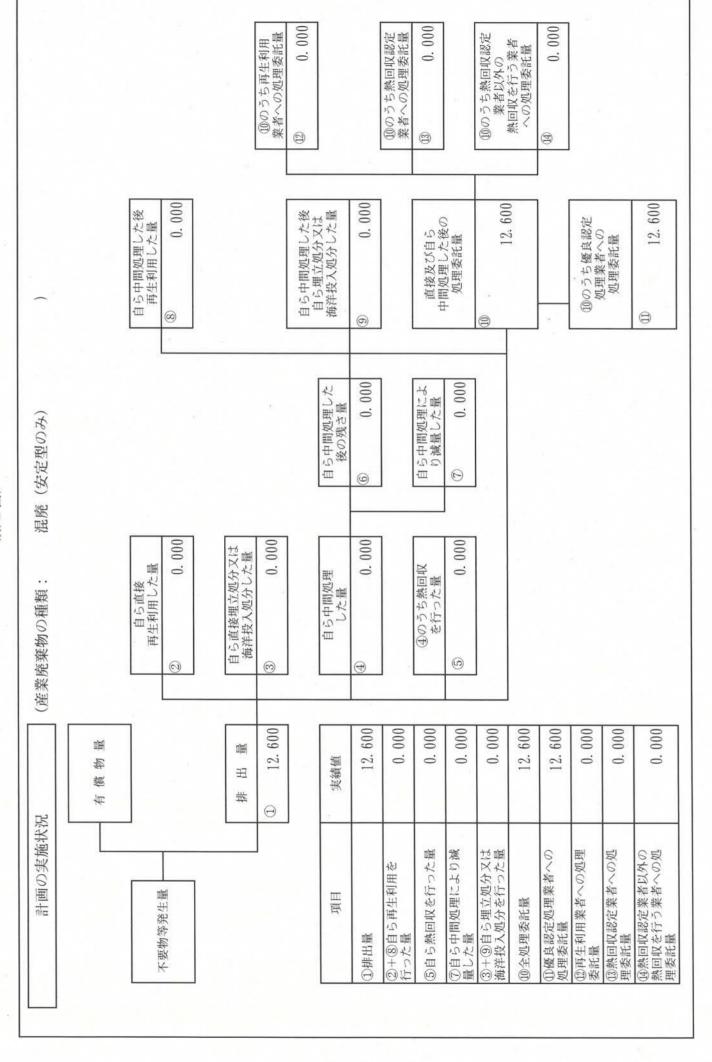


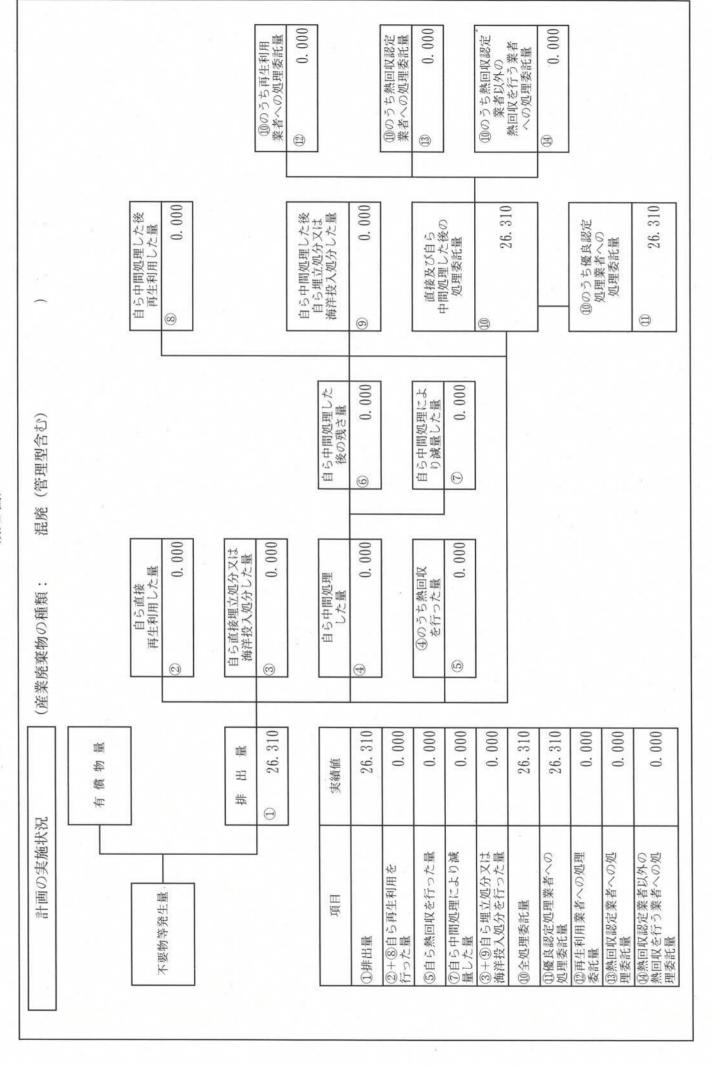












備考

- 1この報告は、6月30日までに提出すること。
- 2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3「産業廃棄物発生量の目標」の欄には、前年度の産業廃棄物処理計画に記載した産業廃棄物 発生量に関する目標を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1)①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量(5) ⑤欄(4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (7) (7) 欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
 - (15) ⑤欄 不要物等発生量のうち、有価物として売却した量及び無償で引き渡した量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物 処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7※欄は記入しないこと。

棚
処理計画実施状況報告
報
況
状
摇
実
画
11/12
用
叉
<u>F</u>
業
と
業
産
理
御
洒
李
逐
業
産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)
業
崖

別紙内訳書

- 1			AND AND AND ADDRESS OF			The state of the same of											
	廃棄物の種類	ナーバクソートがら	ト・コングリート・カバル	その他がれき類	廃プラスチッ ク類	カフスペッタで衛根器へ	金属くず	紙くず	未くず	原石 南北 一 ドル	規鑑	混廃(安定型のみ)	湿廃(管理型合む)	如	項目	実施値	
	華田華	186.2	241.0	3.2	2.4	3.2	18.5	0.4	843.5	2.1	0.1	12.6	26.3	1,339.5	事用排①	1,339.5	
	自ら直接再生利用した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0	
1	自ら直接埋立処分した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑤自ら熱回収を行った量	0.0	
	自ら中間処理した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0	
	(4)のうち熱回収を行った量(内訳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	③+⑨自ら埋立処分を行った量	0.0	
1	自ら中間処理した後の残さ量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⑩全処理委託量	1,339.5	
	④-⑥自ら中間処理により減量した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①優良認定処理業者への処理委 託量	486.9	
	自ら中間処理後再生利用した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	①再生処理業者への処理委託量	1,289.7	
	自ら中間処理後、自ら埋立処分した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	③熱回収認定処理業者への処理 委託量	0.0	
	直接及び自ら中間処理した後の処理委 託量	186.2	241.0	3.2	2.4	3.2	18.5	0.4	843.5	2.1	0.1	12.6	26.3	1,339.5	①熱回収認定処理業者以外の熱 回収業者への処理委託量	0:0	
1	⑪のうち、優良認定処理業者への処理委託量	186.2	226.4	3.2	2.4	3.2	18.5	0.4	5.5	2.1	0.1	12.6	26.3	486.9			
	⑩のうち、再生利用業者への処理委託量	186.2	241.0	0.0	0.0	0.0	18.5	0.4	843.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1,289.7			
1	⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理 委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
1	(意のうち、熱回収認定処理業者以外の熱 回収を行う業者への委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
ll .	(歌のうち、焼却施設への処理委託量(歌の内訳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
参考2	(動のうち、焼却以外の中間処理施設への 処理委託量(側の内訳)	186.2	241.0	3.2	2.4	3.2	18.5	0.4	843.5	2.1	0.1	12.6	26.3	1,339.5			
参考3	(他のうち、埋立処分業者への処理委託量 (他の内訳)	t 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月19日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎市中里町2178番地 氏 名 株式会社たらみ 和田 富 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 095-839-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理 計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 たらみ 小長井工場
事業場の所在地	諫早市小長井町小川原浦1690-1
事業の種類	食料品製造業(フルーツデザートの製造)
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

※事務処理欄

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	9152.81t	全処理委託量	2555. 52t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	π t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	≘ t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	⇔ t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2555.52t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	6597. 29 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	= t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	= t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t
			130 120

(日本産業規格

2

2

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ①欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ④欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記 入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月4日

長崎県知事

殿

提出者

住 所 長崎県長崎市若草町4番32号エスポワール若草

氏 名 **大東建託株式会社** 長崎 支店 支店長 伊東 康貴

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 095-840-0122

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

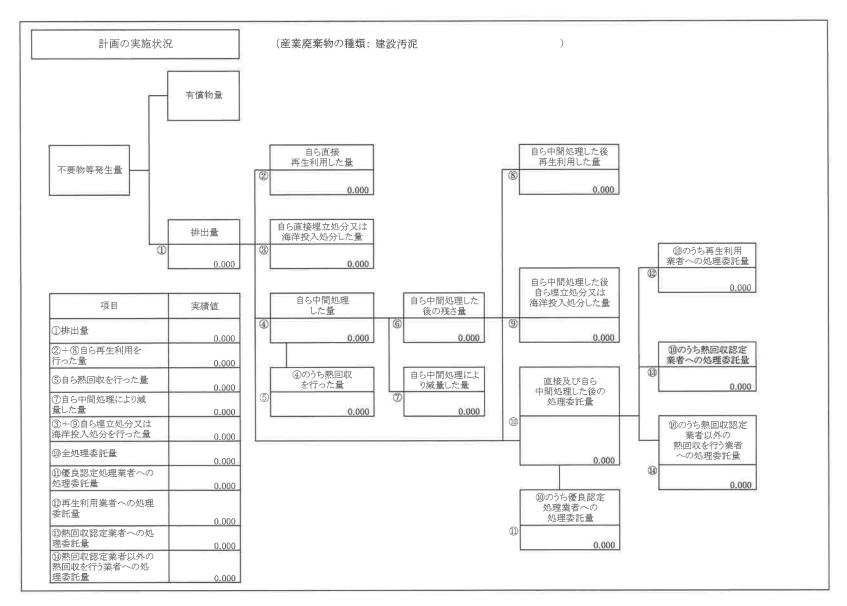
事業場の名称	大東建託株式会社 長崎 支店
事業場の所在地	長崎県長崎市若草町4番32号エスポワール若草
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年 4月 1日から令和7年 3月 31日

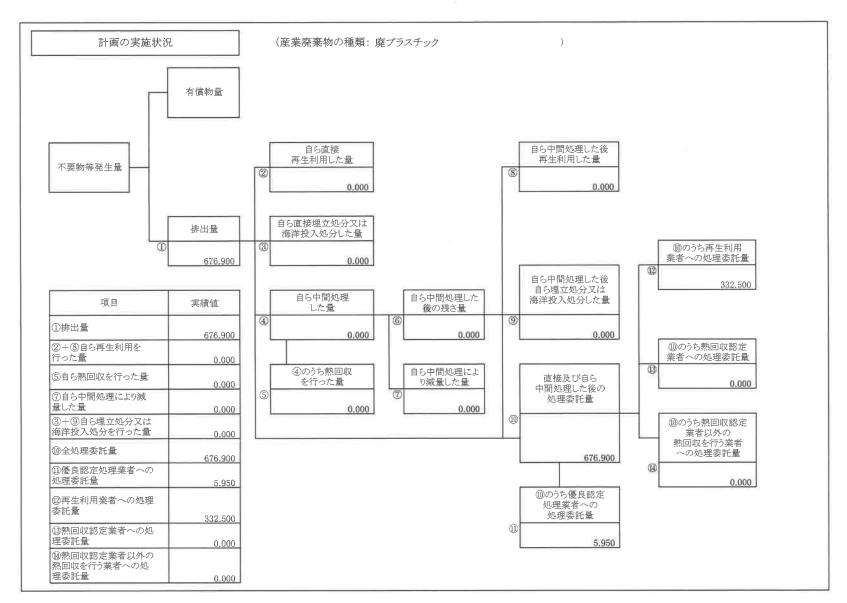
産業廃棄物処理計画における目標値

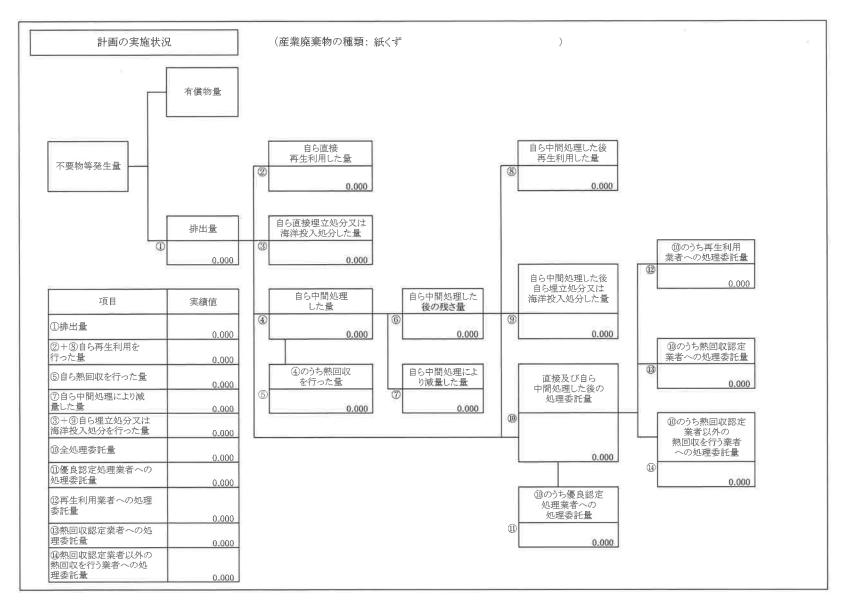
	項目		目標値	項目	目標値
排	出	量	3134.323t	全処理委託量	3134.323t
	再 生 利 用 を 廃 乗 物	を 行 う の 量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	998.263t
	熱 回 収 を 廃 棄 物	行 う の 量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1292.783t
	間処理により減廃 棄物		0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.000t
海洋	埋 立 処 分 投 入 処 分 を 廃 乗 物	を行う	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000t
※事務処	理欄				

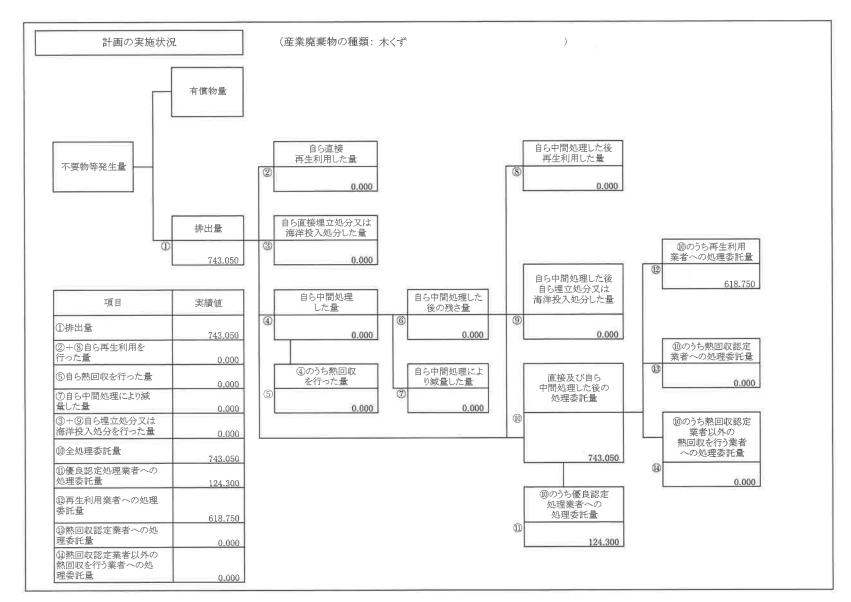
(日本工業規格 A列4番)

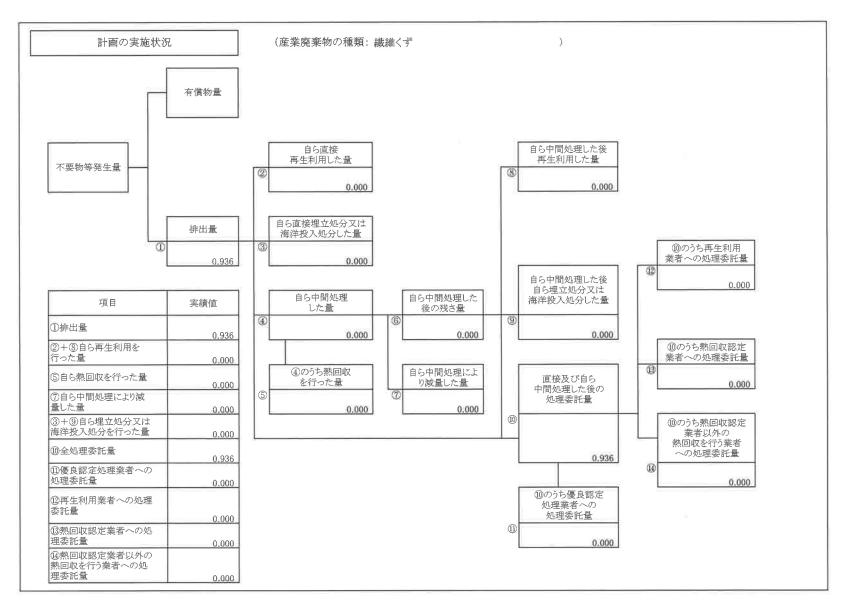


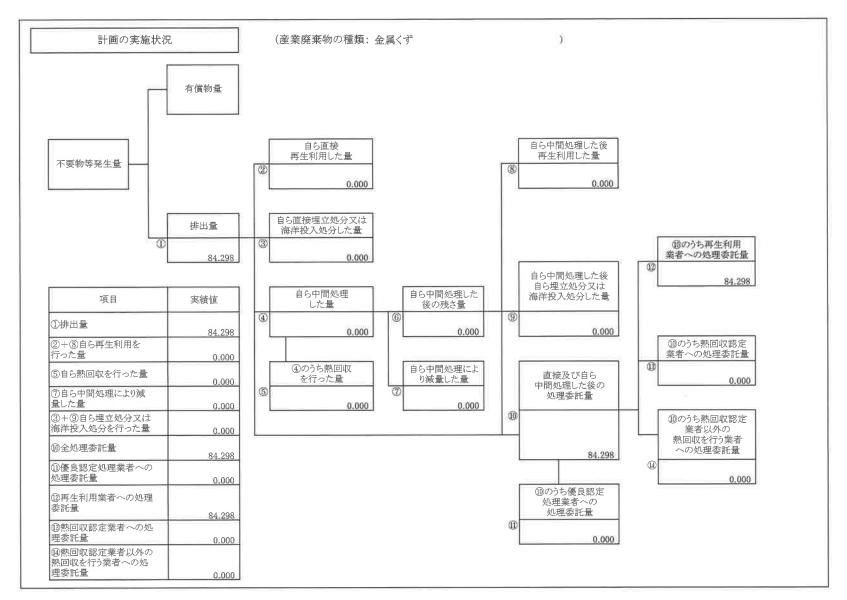


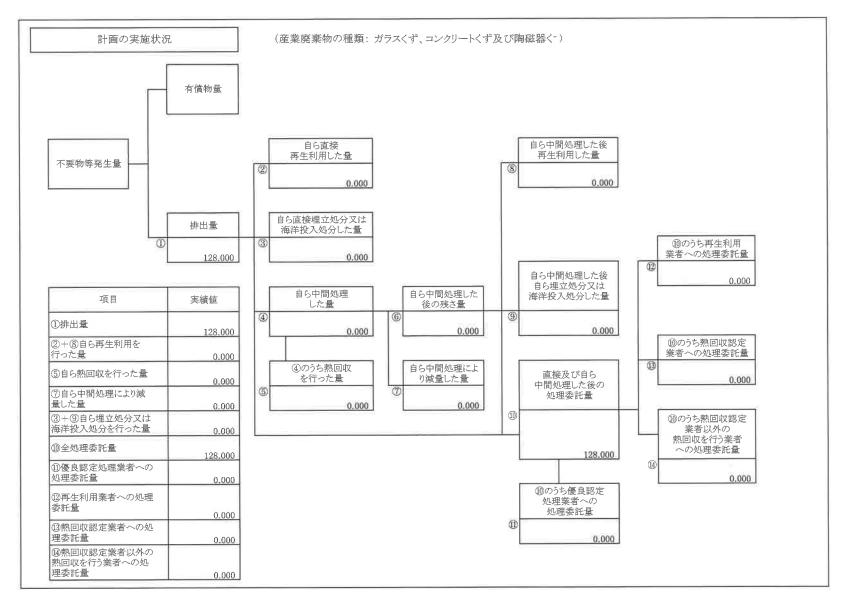


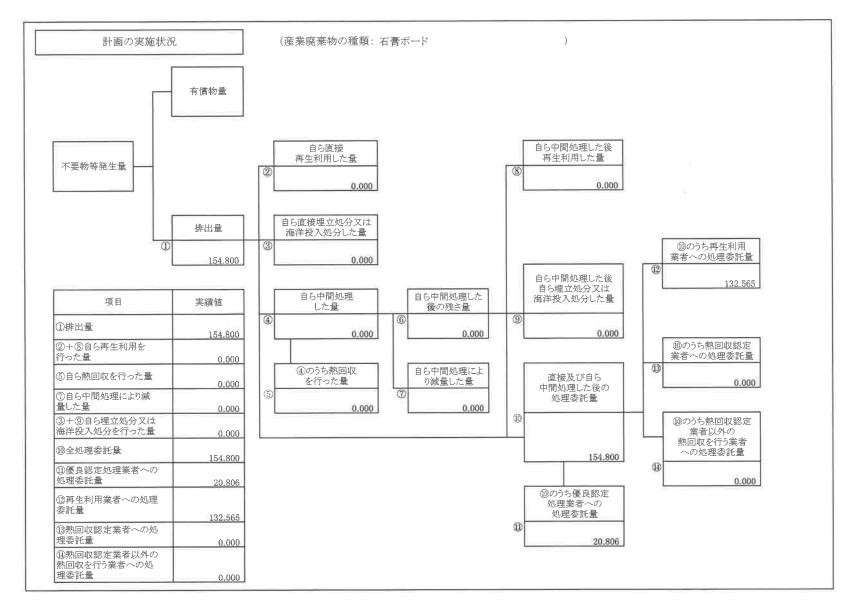


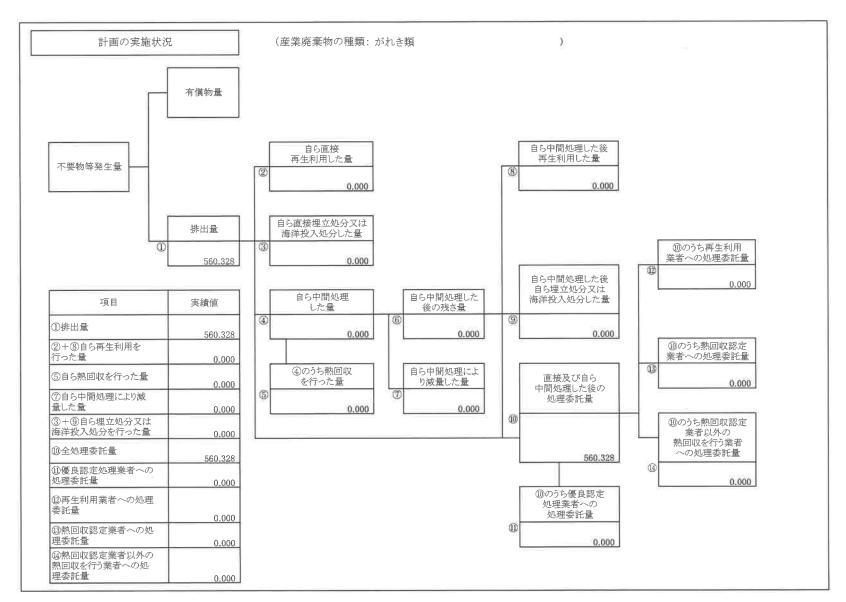


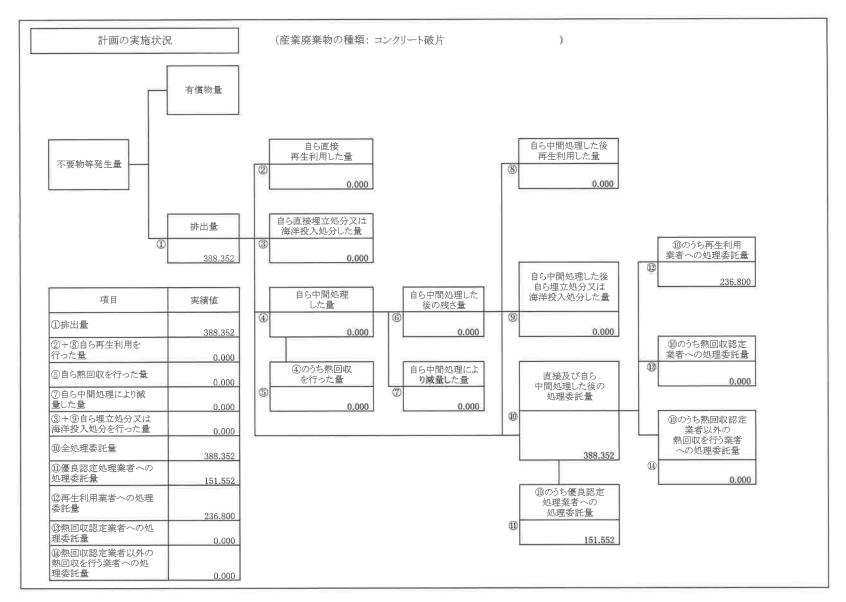


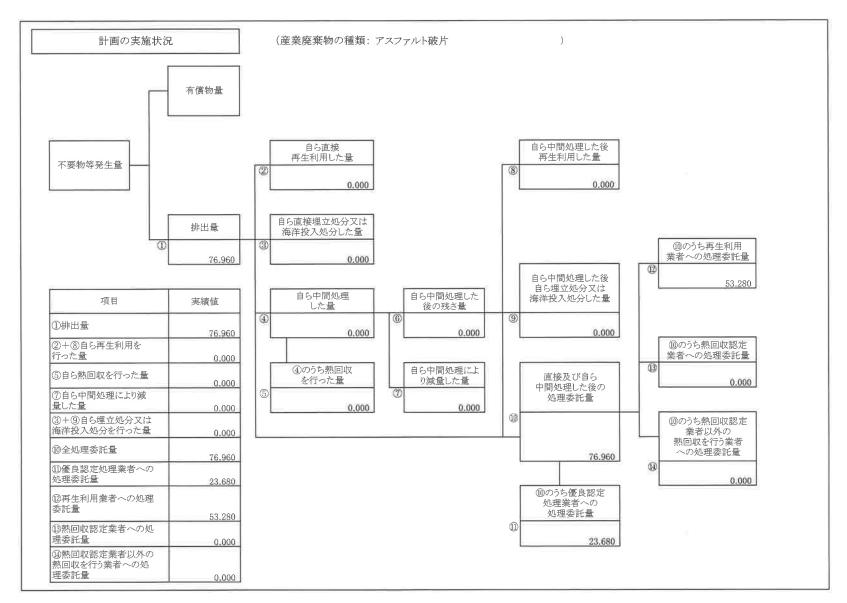


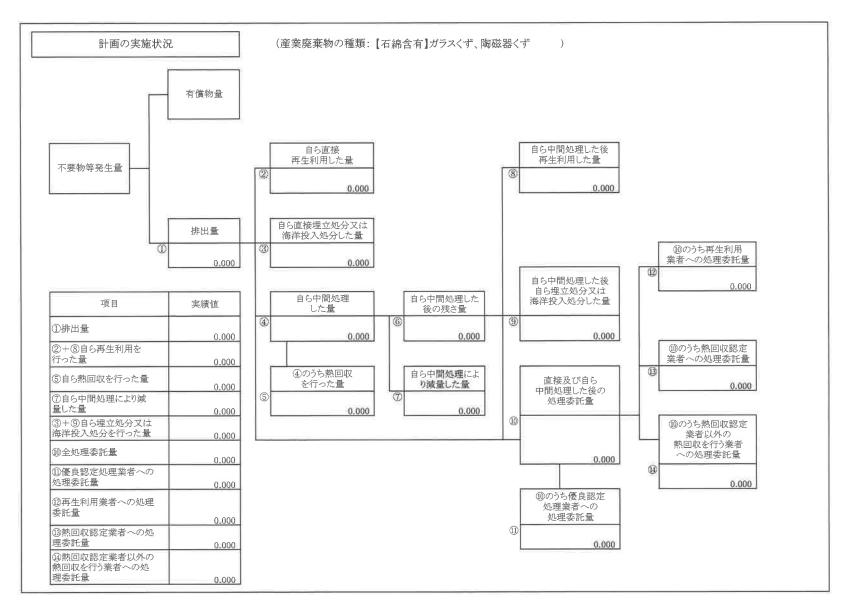


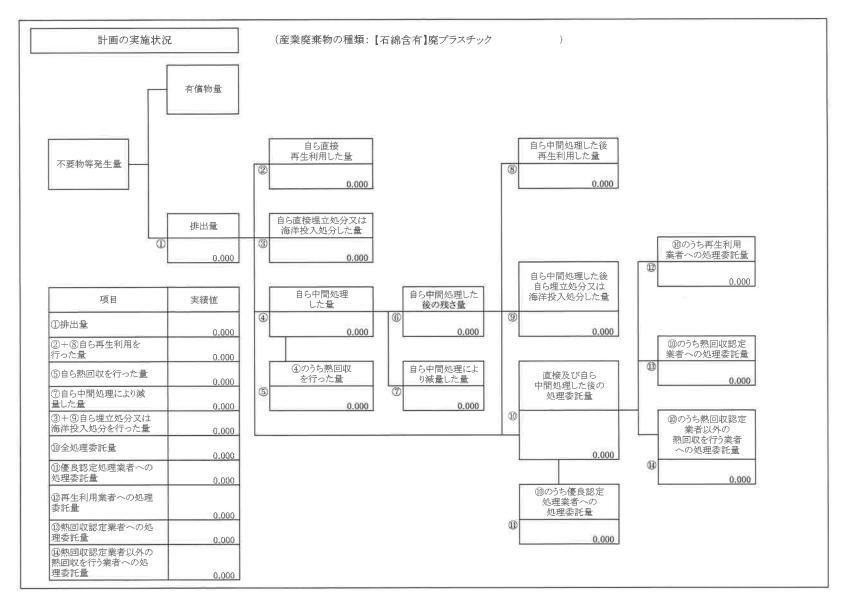


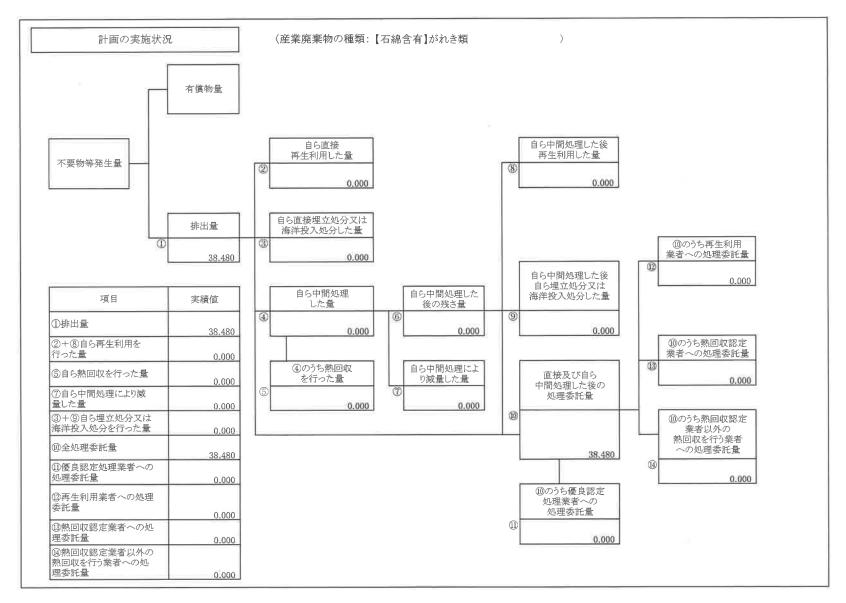


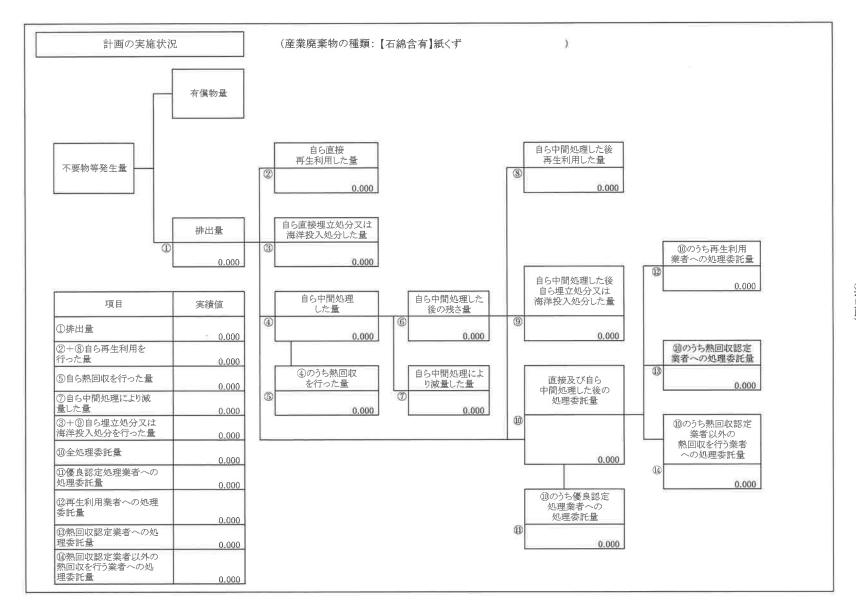


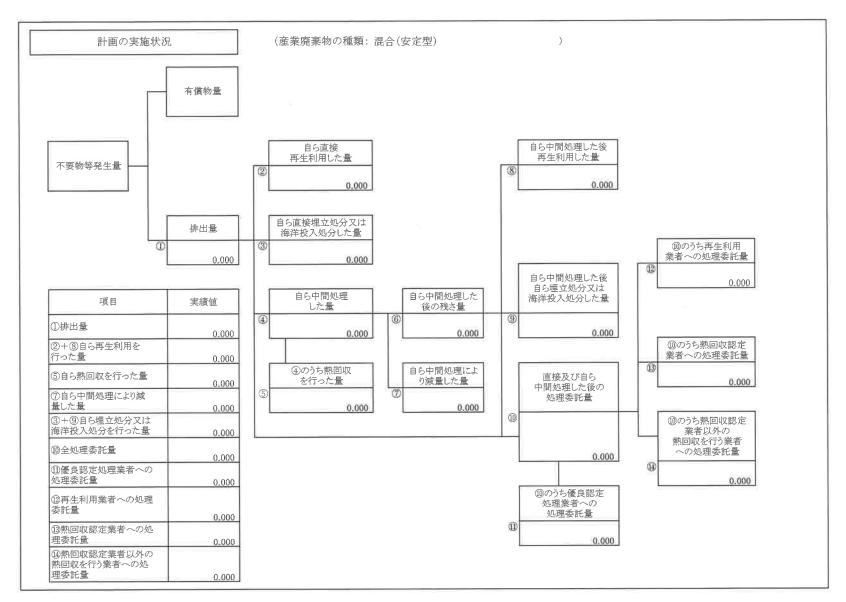


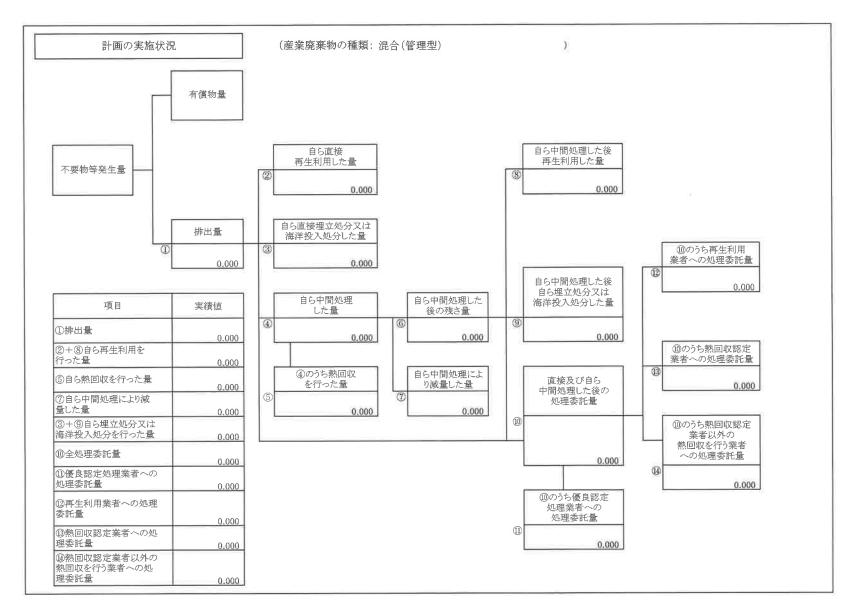


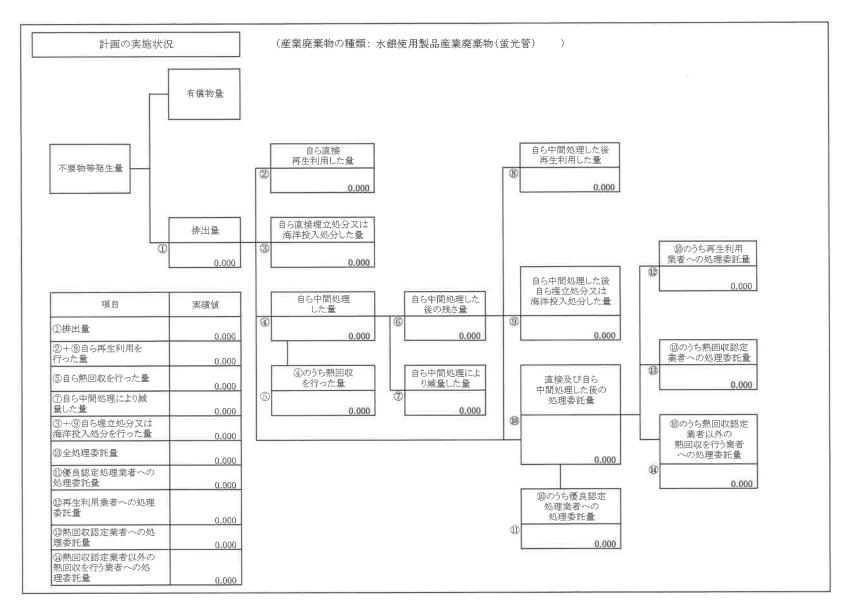


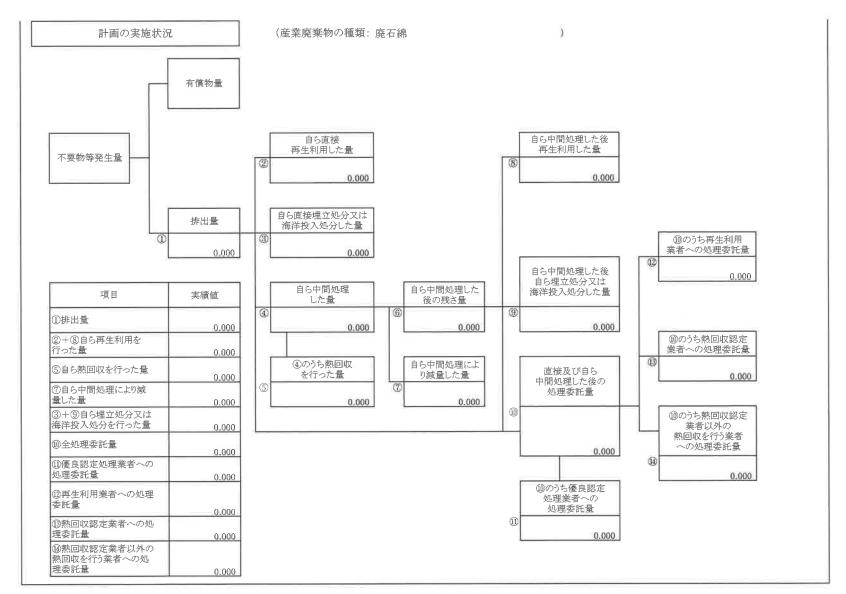












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄(4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) (8)欄(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。